覚幸伸夫（民主クラブ）

温室効果ガスの排出削減は

問　現、富良野市地球温暖化防止計画の今後の方向性を伺う。

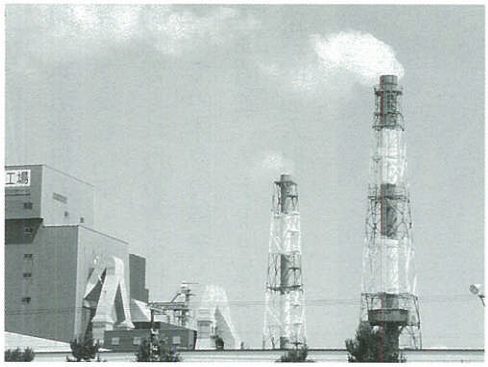
答　平成14年に富良野市地球温暖化防止計画、環境保全計画を策定し、平成22年における排出量を平成2年度の排出量に比べ9・5％削減として、市民、事業者、市が連携を図り、地球温暖化対策に取り組んでいる。計画策定以降においては、国際的な地球環境や経済の変化、環境技術の向上から国の京都議定書等新たな基本計画を策定する。

温室効果ガスの吸収対策

問　温室効果ガスの吸収のため、北海道の新たな森林環境対策に基づき、本市の植林や除間伐事業の取り組み、また、カーボンオフセットの考え方を伺う。

答　本市の温室効果ガスの吸収は、森林整備として人工林約60haの間伐と、無立木地約15haの植林が検討されており、新たな森林環境政策に取り組む必要がある。カーボンオフセットは、温室効果ガスの排出量削減をできない所が、吸収量の増加を持っている所から買って埋め合わせるクレジット制度である。

本市は、カーボンオフセットのシステムの取り組みを進める。



バイオマス利用のボイラー機器

景気対策は

問　09年度補正予算の成立に伴う雇用対策、財政健全化による平成23年度以降実施の事業の前倒し発注などの考えを伺う。

答　国は、過去最大の景気対策が執行されることで、本市では緊急雇用対策として、平成23年度以降の事業の前倒し発注の取り組みを考えている。

大橋秀行（民主クラブ）

地上デジタル放送は

問　平成19年第3回富良野市議会定例会で、小規模中継局が設置されている麓郷・東山地域では、NHKが2009年に放送が開始されるが、民放4局の中継局の整備は、放送事業者と現在検討中とあったが、その後の経過は。

答　麓郷・東山中継局については、NHKが本年度、中継局の整備工事を行い、本年度秋にはNHKのデジタル放送が開始される予定。また、民放4局の中継局については、富良野市が施設を設置しており、HBCが民放の幹事局となって、年内に機器やアンテナの実施設計を行い、事業費を算出する。なお、富良野市が事業主体となって、来年度、工事を発注する予定。工事期間は、麓郷・東山の中継局とも6月から10月を予定しており、秋から冬にかけてデジタル放送が視聴できる見通し。

2011年　アナログ放送終了

富良野市農業及び農村基本計画の担い手対策

問　優秀な外部人材の育成について伺う。

答　農業の担い手の絶対数は大きく減少している状況にあり、富良野農業の振興発展のためには良質な雇用労働力を確保することが急務。本年度施設園芸作物を中心に、農業技術の習得のため、農業労働力養成講座を8名の受講が終了し、今後富良野農業の現場での活躍を期待する。

【その他の質問】

◇営農組織の活性化について
◇農作業受託組織の育成について
◇農村女性の負担軽減について